

多くの方に無垢の家具の

良さを知ってもらいたい

妥協を許さない製品作り

自然工房 (福山木工)

代表者 福山 孝行さん

自然工房の福山さんにお話を伺った。

自然工房は、創業八十五年、孝行さんは三代目。無垢家具作りで際立った会社である。無垢家具を作るのは、産地大川でも数社しかない。その中でも自然工房は一本一本からオーダーを受ける。極力、釘や金物を廃し、自然素材を使っている。塗料も自然塗料。もちろんポリ化粧合板やプリントはほとんど使用しない。無垢家具は、一本の原木から

必要な寸法や用途に合わせて、角材や板を切り出したもので、本来の木の良さを出し、長期間使用することで独特の雰囲気を持ったアンティーク家具となる。子供から大人まで、そして子孫にまで代々引き継がれることが無垢家具の真骨頂だ。

「使う材は特徴あるクルミが多いですね。それにウォールナット、ブラックチェリー、ナラ、オークなどです。」と福山さんは話される。そして、最近では節ある材をあえて使うそう

だ。その理由について「エコもあります。それに自然なため、まじ、高級感を楽しめるからです。木には一つ一つ個性があります。その良さをお客様に感じ取ってもらいたい。」という。

福山さんが心がけていることは、製品にお客の要望を最大限反映させること。

そのため、可能な限りお客にラフスケッチ、ラフ画を描いてもらう。ホームページには、その優しい描き方が説明されている。こうなっている。



